

感動一点の場

『馬も犬も』
1973年 小川原 脩 画



小川原脩が「今ではすっかり見かけなくなった」と語る犬の群れが画面手前に描かれています。何かに向かって吠える犬、耳を伏せてこわばる犬、こちらを向いて大きく口を開ける犬など表情はさまざまです。自由なはずの犬たちですが、なぜか身を寄せ合って群れを離れようとはしません。犬の後ろには歯をむきだし太い首をよじらせる農耕馬が描かれ、その奥には立ち止まったまま首をうなだれる馬も見えます。激しい感情やさまざまな表情を描こうとしたのでしょうか。動物たちのからだは赤や茶色の絵の具で肉感を表現し、ところどころに青や緑を塗り荒々しい動きのある画面に仕上がっています。

この作品が制作された年、日本は第1次オイルショックでインフレが激化し、人々は不安定な社会情勢に翻弄されました。「どこかで旗を振れば我がちに同じ方向に走り出す」と、群化する社会に警鐘を鳴らした小川原脩。この作品では人間を動物に置き換え、自由を求めながらも社会情勢にあらがえない状況を表現しているかのようです。

さてインターネットなどにより情報はますますスピード化する現代。この作品は今を生きる人々にとっても群化する社会について考えるきっかけになるのではないのでしょうか。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

ふるさと探訪

アリオン・サブファスカス —新たな外来ナメクジ—

517回

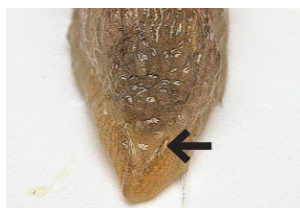
2026（令和8）年1月、これまで識別されてこなかった外来ナメクジの一種が、日本で正式に記録されました。学名 *Arion subfuscus* というヨーロッパ原産のナメクジで、すでに北アメリカでは移入種として広く分布しています。日本で記録されたのは今回が初めてだったこともあり、和名はまだついていません。

本種と思われる個体はこれまでも道内各地で確認されていましたが、種は確定していませんでした。

2024（令和6）～2025（令和7）年にかけて倶知安風土館と東洋食品研究所（兵庫県）が、札幌市や小樽市で採集した個体のDNAを解析した結果、ようやく確実にアリオン・サブファスカスであることが判明しました。

アリオン・サブファスカスによる被害については未知数ですが、他のアリオン属の種では農作物被害の例が報告されていることから、油断は禁物です。

本種について、多くの方に知っていただけるよう、現在風土館1階エントランスにて、アリオン・サブファスカスについての展示を行っています。



▲尾の先端の三角形のくぼみが特徴（写真内矢印）



▲エサに群がるアリオン・サブファスカス

文：小田桐 亮（倶知安風土館 学芸員）

展覧会のお知らせ

■第1・第2展示室

特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館

所蔵作品交換展 二人の歩んだ道」

会期：開催中～7月12日（日）

アート・イベントのお知らせ

■ワークショップ

工作ワークショップ「こいのぼりを作ろう、描こう」

日時：開催中～5月6日（水・振休）

9時～16時30分 会場：ロビー（予約不要・無料）

■地域文化講座

特別展ギャラリートーク「神田日勝の多種多様な画業をたどる」

日時：5月23日（土）14時～15時

会場：展示室（予約不要・要観覧料）

講師：杉本圭吾さん（神田日勝記念美術館学芸員）

美術館・風土館 コラボイベントのお知らせ

■共同ワークショップ

「おさんぽビンゴとスタンプ遊び」

日時：5月30日（土）①10時～12時②14時～15時（雨天決行）

会場：美術館前庭（雨天の場合：風土館体験学習室）

講師：小田桐亮（風土館学芸員）、金澤逸子（美術館学芸スタッフ）

定員：毎回10名（親子可） 申込：当日先着順

倶知安風土館のお知らせ

■倶知安いきもの調査隊

第6回セイヨウオオマルハナバチ採集調査会

日時：5月10日（日）10時～12時（少雨決行）

場所：百年の森公園※予約不要 参加費：無料

講師：小田桐亮（風土館学芸員）、廣川大恒（百年の森管理人）

■ふるさと探訪

鳥見の会—真狩樹木園—

ニセコにやってくる夏鳥がおおむね揃った時期に合わせた、鳥の観察会です。周辺の自然環境にも気を配りながら、鳥を探してゆっくりと歩きます。

日時：5月10日（日）8時30分～12時30分（少雨決行）

場所：羊蹄青少年の森駐車場

参加費：250円（保険料） 定員：10名※要予約

講師：矢吹全（ニセコネイチャーガイド・フォレストレック主宰）

予約受付：5月3日（日）までに申込（☎22-6631）

右の二次元コードからも申込できます→



■こいのぼり、泳いでいます

今年度も風土館前にて、こいのぼりを展示しています。寄付も受け付けていますので、ご自宅に眠っているこいのぼりがありましたらぜひお持ちください（ナイロン製のみ）。

※損傷、破損が激しいもの、布製のものは受け付けできません

ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円 [400円]

高校生 300円 [200円]

小中学生 100円 [50円]

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円 [100円]

高校生以下、美術館観覧者無料

※年間パスポート 500円

※[]内は10名以上の団体料金

開館時間は9時～17時（最終入館16時30分）

5月の休館日 毎週火曜日、7日（休）

5日（火）こどもの日は開館（観覧無料）

*特別展会期パスポート（美術館のみ）
1,000円

*特別展会期中は高校生以下無料

グリーンシーズン到来

5月に入って雪もすっかりと解け、屋外での活動が活発になってくる時期を迎えています。倶知安風土館では今年度もさまざまな屋外でのイベントを計画しております。

5月10日には、ふるさと探訪「鳥見の会—真狩樹木園」と題したニセコにやってくる夏鳥の観察会を、16日には、いきもの調査隊「第6回セイヨウオオマルハナバチ採集調査会」と題した特定外来生物のセイヨウオオマルハナバチを捕まえながら、マルハナバチについて学ぶ調査会をそれぞれ開催する予定です。

ふるさと探訪は事前申込が必要で、先着10名となっていますのでご注意ください。いきもの調査隊は当日現地（百年の森）にお越しただけであれば参加可能です。

どちらも倶知安の自然に触れ、生き物について学ぶことのできる楽しいイベントですので、ぜひご参加ください。

館長 高橋 淳之